

研究・調査報告書

報告書番号	担当
299	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）：	
Alcohol and type 2 diabetes. A review. アルコールとⅡ型糖尿病	
執筆者：	
Pietraszek A, Gregersen S, Hermansen K.	
掲載誌（番号又は発行年月日）：	
Nutr Metab Cardiovasc Dis. 2010 Jun;20(5):366-75. Review.	
キーワード：	
飲酒、Ⅱ型糖尿病、発症、血糖管理、メタアナリシス	
要 旨	
目的： アルコール飲酒とⅡ型糖尿病のリスクについて、また、アルコール飲酒が血糖値のコントロールに及ぼす影響について血糖降下剤の有無別に検討する。	
方法： MEDLINE と Cochrane Library のデータベースにより、「Ⅱ型糖尿病」と「飲酒」をキーワードにして英語論文を検索した。アルコール飲酒とⅡ型糖尿病のリスクについては、統合研究、総説、1000 人規模 1990 年以降の観察研究を選んだ。アルコール飲酒が血糖値のコントロールに及ぼす影響については 1990 年以降の論文を選んだ。	
結果： 多くの論文では飲酒量はⅡ型糖尿病発症リスクと J カーブ型の関連を認めた。飲酒パターンはⅡ型糖尿病の発症に影響を及ぼしており、大量飲酒はⅡ型糖尿病発症リスクとの関連を認めた。アルコールの種類とⅡ型糖尿病の発症については確立された結論は見いだせなかった。飲酒はⅡ型糖尿病において他の食事摂取状況に応じて血糖、インスリン、脂肪酸、中性脂肪に急性の影響を与えていた。飲酒は食事治療のみⅡ型糖尿病においては低血糖との関連を認めないが、SU 剤加療中のⅡ型糖尿病においては低血糖のリスクが上昇していた。多くの研究で長期のアルコール飲酒はⅡ型糖尿病における血糖コントロールの改善と関連していた。	
結論： アルコール飲酒はⅡ型糖尿病の発症を抑制する傾向にあるが、大量飲酒はⅡ型糖尿病の発症を増加させる。飲酒は食事療法のみのⅡ型糖尿病に対しては低血糖を引き起こさないが、SU 剤加療中のⅡ型糖尿病においては低血糖を引き起こす。長期のアルコール飲酒はインスリン感受性の改善を介して、Ⅱ型糖尿病における血糖コントロールの改善との関連を認める。	